

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネクストエール立川教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 2日 ~ 令和7年 5月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 2日 ~ 令和7年 5月 17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の療育力の高さ・専門性	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、朝の打ち合わせ終了後に、療育準備を兼ね、児童の情報を交換する、対応についての意見を出し合う等に取り組んでいる。 障害特性や対応方法等についての動画研修や冊子での情報を共有し、自己研鑽している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を有効に使い、計画的に研修を企画していく。 常に新しい情報をキャッチし、社会情勢や動向に合わせ、児童の療育の進め方を検討していく。
2	ワーク・ライフ・バランス	<ul style="list-style-type: none"> 働き方に合わせた柔軟な勤務形態 管理職へのテレワーク導入 全従業員と毎月の面談実施とヒアリングに基づく業務改善 タスク管理表導入による業務の効率化 本社と連携した残業要因への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の定期的な臨店で教室内の状況を把握し安定した教室経営を継続していく。 業務内容や療育担当等、可視化することで職員が動きやすい環境を設定していく。 業務の効率化を徹底し、時間を有効に使うことで時間内に進めていく。
3	職員間の情報共有・連携	<ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせ、準備、そして情報共有の時間が確保できている。 シフトで参加できない職員への情報もしっかりと伝達できている。 療育の体制では、主担当職員からの指示を徹底している。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の時間での打ち合わせやその他共有事項については、時間を設定し、内容の充実と長引くことのないよう進めていく。 児童の様子等、掲示板を設置し、誰でも確認が容易にできるように工夫する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育（専門的支援加算）に対応できる職員が限定されている。	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の時間が午後に設定されていることや、職員の経験年数、育成ができる環境が整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育の時間帯の見直し、対応職員の育成を計画的に進めていく。
2	社員・パート・アルバイト職員の構成であるが、人材の育成が浸透できていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> 児童・保護者への対応、連絡帳や記録、事務処理等、職員間で偏りが見られた。アルバイトについては、限定的な働き方でもあり、育成の時間を取ることができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな職員について、研修項目を立て児童や保護者への対応や、事務作業等計画的に進めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネクストエール立川教室
------	-------------

公表日 令和 7 年 6 月 25 日

利用児童数 19名

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				十分なスペースが確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				安全に配慮された環境だと思います。	今後も、環境を整備していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1	室内の動線が整理整頓されていて安心して活動に取り組める空間になっていると思います。	今後も、整理整頓に努めています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1	職員の方々が子供の特性や発達の段階をよく理解していて、その子に合った関わりや支援が行われていると感じています。	これからも、専門性を高めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				支援前の面談を丁寧に行ってください。しっかりと理解して頂き、支援計画にもその内容が反映されていると思います。	保護者の方との面談を計画的に実施し、確認いただけるよう努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			1	子どもの興味や関心に応じて活動内容が調整され、季節行事を取り入れるなどしっかりと工夫されていると思います。	これからも、プログラムを工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	2	6	今まで他の子どもと触れ合っている様子はないと思う。子どもが通っている保育園にも出向いて下さり、情報共有して頂き感謝です。	保育園や幼稚園と併用している児童が多いことから実施していないが、今後、保護者からの要望があれば検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			1	半期ごとに保護者会があり、いろいろな理解が深められる。	これからも、保護者の方が参加できる機会を設けています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17				その時の状況で仕方ないと思いますが、他の保護者の方と一緒に声のボリュームによっては話が聞けれない時もあります。 日頃より、送迎時や連絡帳で子どもの様子や変化について共通認識が持っていると感じています。	引き継ぎの仕方を工夫し、個々に丁寧に引き継ぎができるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				面談を通して、子どもの変化や取り組みについて丁寧に説明していただけるので助かってます。	今後も、ご家庭への支援を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				子供の成長と一緒に喜んでくれる姿勢に安心して任せられる環境で支援を受けているように感じます。	これからも、お子様の成長と一緒に喜んでいけるような教室作りを進めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14			3		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることがありますか。周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1	相談や申し入れをした際、その場ですぐに対応していただけて安心しています。	これからも、相談等あれば、迅速・丁寧に対応していきます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	16	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	1		いつも笑顔で迎えてくださる先生のおかげで子供も安心して通うことができています。	お子さまが安心して通所できるよう、これからも心がけていきます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		毎回行くのが待ちきれない、時間まで抑えるのが大変	お子さまが楽しんで過ごすことができるよう、今後も工夫を重ねていきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1		支援などには満足しているが、説明があまりない状態での時もあり、聞きたいことがあっても聞けない雰囲気の時もあるので初めてのことは説明していただけと助かります。 子どもの様子をこまめに報告してくださるので、安心してお任せすることができます。	職員からの説明は、できるだけ詳しくお伝えできるように職員間で共有いたしました。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストエール立川教室				
		公表日 令和 7 年 6 月 25 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	アセスメントシートは作成しているが実施できていない。	実際に活用できるように、再度検討していきます。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				

供 与	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	1	7	公園等外出先での交流はある	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			